



稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより No.8
令和8年 9月25日
文責 校長 及川 年彦

【学校の教育目標】
りこうで 稲穂小 WEB
たっしやで
ほがらかな
稲穂の子



「あいさつ運動から」

事務主幹 森末 武雄

今年の夏は、厳しい暑さが続くこともなく、比較的過ごしやすい夏となりました。朝夕の空気や少しずつ短くなる日差しに、季節の歩みを感じる頃となりました。

季節は、私たちが意識していなくても、少しずつ移り変わっていきます。子どもたちもまた、毎日の学校生活の中で、さまざまな経験を重ねながら、一步一步着実に成長しています。

9月には、児童会を中心とした「あいさつ運動」が行われました。朝、交わされる「おはようございます」の声。ほんの短い一言ですが、不思議と心が明るくなったり、「今日も一日が始まるな」と気持ちを前向きにしてくれたりします。

誰かがあいさつをすると、誰かが返してくれる。そして、その声を聞いた別の誰かにも笑顔が生まれる。そんな小さなつながりが少しずつ広がり、学校全体のあたたかな雰囲気をつくっていくのではないのでしょうか。

あいさつは、とても小さな行動です。でも、その一言には、「あなたのことを見ていますよ」「今日も一緒に過ごそうね」という、言葉には表れないあたたかな気持ちが込められているように感じます。

こうした「つながり」は、日々の学校生活の中にもあります。教室の電気がつくこと。必要な教材や物品が届くこと。水道から当たり前のように水が出ること。寒い日には校舎が暖かくなること。そうした普段は意識することのない「当たり前」の向こう側にも、たくさんの人の仕事や思いがあります。

あいさつの一言も、誰かのためにする仕事も、目立つものではないかもしれませんが。それでも、一人ひとりの小さな行動が誰かにつながり、その誰かの一日を少しでもあたたかいものにしている。私も事務室から、子どもたちの「今日」が安心して始まり、いつもの学校生活を送ることができるよう、目には見えなくてもそっと子どもたちの毎日を支える一人でありたいと思っています。

これから朝夕はさらに涼しくなり、日中との気温差も大きくなる時期を迎えます。子どもたちが毎日元気に学校生活を送るためには、健康もまた大切な土台です。インフルエンザも流行しているようです。ご家庭におかれましても、お子様の健康管理にご留意いただき、引き続き学校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。



小中一貫教育第2回部会を開催しました。

小中一貫教育の充実に向けて、夏季休業中に「教育課程部・地域部会」「学力部会」「こころ部会」「体力部会」「特別支援教育部会」の第2回部会を開催しました。各部会では、子どもたちのよりよい成長につながる具体的な取組について協議し、2学期の活動内容を確認しました。

9月10日(木)には5年生を対象としたボール投げ出前授業が行われ、今後も小中授業交流週間(公開研究会:中学校11月27日、小学校12月4日)の実施をはじめ、稲穂小学校児童会と西陵中学校生徒会による「いじめ防止サミット」、6年生による西陵中学校文化祭総練習の見学など、さまざまな取組を予定しています。

本校区では、「地域とともに、主体的に学び、協働し、未来を切り拓く児童・生徒の育成」を目標に、小中が連携した教育活動を進めています。これらの取組を通して、児童生徒はもちろん、ご家庭や地域の皆様とのつながりをさらに深め、小中一貫教育のよさや成果を実感できるよう努めてまいります。

今後も9年間の学びのつながりを大切にしながら、子どもたちの健やかな成長を支えていきます。

令和8年度小中一貫教育グランドデザインはこちらから➡



小樽市指導力向上研修講座Ⅲ(理科)がありました。

8月27日(木)、本校を会場に小樽市教育委員会主催の「小樽市指導力向上研修講座Ⅲ(理科)」がありました。

当日は、筑波大学附属小学校の富田瑞枝先生を講師としてお招きし、5年2組で理科の示範授業を行っていただいたほか、授業改善に向けた講演会を実施しました。

示範授業では、「どうすれば、水と食塩水を見分けることができるだろう?」という課題解決に向けて、結果を予想したり、実験を通して友だちと協力しながら自分の考えを深めたりする姿が見られました。また、講演会では、理科の授業づくりや学習指導の改善に向けて、多くの示唆をいただきました。

本校では、今回の研修で学んだことを生かし、重点目標である「より良いものを作り出すために協働できる子ども」「より良い行動を考え、進んで取り組む子ども」の育成に努めてまいります。

保護者の皆様には、研修会に伴う日課変更等へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。



第12回小樽音読カップ 校内オーディションを行いました。

11月7日(土)に開催される第12回小樽音読カップに向けて、本校では15名の児童から応募があり、9月7日(月)に校内オーディションを実施しました。

校内オーディションでは、本番と同じように体育館のステージに立ち、マイクを使って音読を発表しました。どの児童も、気持ちを込めて表現豊かに読み、速さや間の取り方にも工夫が見られるなど、日頃の音読の成果を十分に発揮していました。

審査の結果、次の3名の皆さんが稲穂小学校の代表に選ばれました。

2年〇組 〇〇 〇〇 さん 4年〇組 〇〇 〇〇 さん 6年〇組 〇〇 〇〇 さん

第12回音読カップは、11月7日(土)に開催されます。当日は、市内の小中学校から多くの児童生徒が参加し、練習の成果を発表します。お時間がありましたら、ぜひ会場に足をお運びいただき、子どもたちへの温かいご声援をお願いいたします。

